

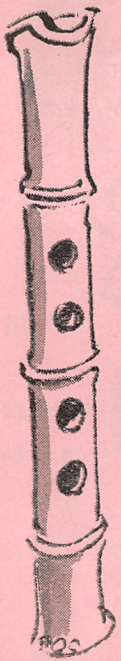
文箱  
殿中双傷に  
使ひます  
黒塗繪  
長さ九寸五分  
横幅二寸五分

文樂人形小道具解圖 其九 齋藤清二郎解説並繪



羽子板と羽根

戻駕かむろに使ひます  
羽子板 一尺三寸二分  
羽根⊙は左遣のもつ羽根⊙は  
一間あまりの黒塗の細い差し  
金の竹がつきます



尺八 山科閑居 加古川本藏が虚無僧の尺八  
長さ 一尺四寸 本竹



★長期建設 國民精神總動員 ★國を護つた傷兵護れ ★金製品を賣りましたか ★

符切賣前

一等席指定券に限り五日前より左記  
場所にて前賣開始致します。

- 四ッ橋 文樂座  
電話南四七壹壹番
- 心齋橋筋 京阪案内所  
電話南一八三六番
- 朝日ビル プレイガイド  
電話北濱三九九五番

◇團體の御申込みは特に御便宜に御  
取計ひ申上げます

◇御觀覽料◇

一等席	・二圓	(座席三十錢上り)
二等席	・一圓	
三等席	・五錢	(外に各等入場税一割)

◇御案内◇  
お下足の用意は御座いますが  
靴草履はそのまゝ御入場出來  
ますので御便利です

座 樂 文 橋ッ四

電話南 76 (三八七三 八八七三 三三〇三 二二一七 番番番)



本年掉尾を飾る  
師走の若手人形淨瑠璃

十二月一日初日

初日 午後二時開幕  
毎日 午後三時開幕

四ッ橋

文樂座



第一 假名手本忠臣藏

三時より 七時まで

大序兜改めより戀歌の段  
 足利直義 (竹本さの太夫) 豊竹宮太夫  
 高野師直 (豊竹駒若太夫) 竹本相瀨太夫  
 瀬世御前 (竹本津磨太夫) 竹本越名太夫  
 若狭之助 (豊竹松島太夫) 豊竹英太夫  
 鹽谷判官 (豊竹松島太夫) 豊竹英太夫  
 鶴澤清友 (豊竹松島太夫) 豊竹英太夫  
 下馬先進物の段  
 豊竹富太夫 鶴澤友太郎  
 殿中刃傷の段  
 豊竹和泉太夫 鶴澤叶十郎  
 裏門の段  
 竹本さの太夫 鶴澤友太郎  
 竹本津磨太夫 鶴澤友太郎  
 竹本寛磨太夫 鶴澤友太郎  
 竹本友若太夫 鶴澤友太郎  
 道行旅路の嫁入  
 竹本相生太夫 鶴澤友太郎  
 竹本織太夫 鶴澤友太郎  
 竹本南都太夫 鶴澤友太郎  
 竹本伊達太夫 鶴澤友太郎  
 竹本辰太夫 鶴澤友太郎  
 竹本播磨太夫 鶴澤友太郎  
 竹本津磨太夫 鶴澤友太郎  
 竹本相瀨太夫 鶴澤友太郎  
 竹本松島太夫 鶴澤友太郎  
 豊竹英太夫 鶴澤友太郎

山科閑居の段  
 後 豊竹澤新左衛門  
 前 竹本清二太夫  
 鶴澤本相生太夫  
 竹本相生太夫  
 鶴澤清友  
 豊竹澤龍藏市

(人形役割)  
 足利直義 桐竹紋司  
 鹽谷判官 桐竹門造  
 高野師直 吉田榮三  
 桃井若狭之助 桐竹紋太郎  
 顔世御前 吉田光之助  
 仕丁名 大田光之助  
 加古川本藏 吉田玉藏  
 驚阪内 吉田玉藏  
 茶道珍才 吉田文枝  
 早野勘平 吉田幸枝  
 こし元おかる 吉田光之助  
 取巻 大田光之助  
 娘小 桐竹紋十郎  
 妻戸無浪 桐竹紋十郎  
 妻おりん 吉田文五郎  
 妻お石 桐竹政龜  
 大星由良之助 吉田榮三  
 (幕間十五分)

第二 半七勝

艶容女

舞衣

酒屋の段

酒屋の段

七時十五分より八時三十五分まで

酒屋の段  
 豊竹千駒太夫 丁稚長 桐竹紋三  
 豊竹伊達太夫 半兵衛 桐竹榮三  
 豊竹播磨太夫 屋敷勝房 吉田多三  
 豊竹新太夫 親半兵衛 吉田五兵衛  
 豊竹綴太夫 茜屋宗七 吉田文五  
 豊竹寛治郎 茜屋宗七 吉田文五  
 鶴澤網延 娘屋おつう 桐竹紋之助  
 第三 夕ざり 曲輪 樟  
 伊左衛門 吉田屋の段  
 夕ざり (竹本南都太夫) 藤屋伊左衛門 吉田榮三  
 竹本伊達太夫 吉田屋喜左衛門 桐竹門造  
 竹本南都太夫 吉田おきさ 吉田小兵吉  
 伊左衛門 喜左衛門 女房おきさ 桐竹紋十郎  
 豊竹呂太夫 若イ者 扇屋夕ざり 桐竹兵次  
 豊竹千駒太夫 若イ者 太鼓持 吉田門次  
 鶴澤重衛門 吉田屋若イ者 大田光之助  
 鶴澤清友 吉田屋若イ者 大田光之助  
 鶴澤網延 吉田屋若イ者 大田光之助  
 (幕間十分)

文樂人形圖解

其九 齋藤清二郎解説並繪



舅

高野師直  
 白塗  
 かしらの動き アオチ(眉毛) 兩眼より眼 口の開閉  
 髪 掴み立て

俗に丸目の舅と申します 老け役の中一等恐い顔をしてゐるかしらで時代物に使ひます このかしらも文樂座に昔から傳つてゐる名寶紋の一つです (ドグシに初代吉田玉造の印があります)  
 すしやの梶原、盛綱陣屋の北條、布引の瀬尾、太功記の柴田勝家等

第四 辰 駕 色 相 肩  
 廓 駭 の 段  
 眞花次良作 豊竹伊勢太夫  
 吾妻與四郎 豊竹辰太夫  
 浪花次良作 吉田玉藏  
 桐竹紋十郎  
 吉田玉幸  
 (打出し)  
 (幕間十分)